令和２年７月３１日

各　位

　　京都府バレーボール協会

会　長　渡　邉　　勝

**新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するお願い**

京都府バレーボール協会（以下「協会」という）においては，新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため，協会主催大会では，大会主催者が遵守する点，参加チームの皆さんに遵守していただかないといけない点を明確にして，新型コロナウイルス感染拡大を防止して，安全，安心な大会運営を行ってまいります。大会実施に関する留意点は，以下の通りです。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

【協会が行う事項】

・体育館の入館前に非接触型体温計にて検温を行う。３７．５℃以上の方は入場をお断りします

・換気の悪い密閉空間とならないように，十分な換気を行う

・他者と共有する物品や箇所の消毒の徹底（試合球を始め，大会に使用する備品・物品）

・共同で使用するトイレ・更衣室・会議室などの取っ手の消毒や部屋の備品の清潔管理と消毒

・役員のマスク着用，場合によってはフェイスシールドでの対応

・密集・密接を避ける手立てを行う（体育館・更衣室以外の会議室を出来る限り開放する）

・役員の体温管理，咳，のどの痛みなどの症状のチェック

・役員の新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無のチェック

【選手及びチームスタッフが遵守すべき事項】

・入館前に非接触体温計にて検温に協力，３７，５度以上の選手等は入場しない

・健康チェックシートを入館後，受付に提出する（体育館提出用と一本化する場合もある）

・以下の事項に該当する場合は，入場・参加は出来ない

　　体調が悪い場合（発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合，体温が３７．５度以上ある場合）

　　新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との接触がある場合

・大会参加中マスク着用（コートでプレー中のみ外してもよい）

・こまめな手洗い，アルコール等による手指消毒を徹底実施する

・他の参加者，主催者スタッフ等との距離（できるだけ２ｍ以上，最低１ｍ）を確保する

・大会中は，大きな声で会話，応援をしない

・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守，主催者の指示に従う

・大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は，主催者に対して速やかに濃

　厚接触者の有無等について報告する

・選手及びチームスタッフ以外の参加者は認めない（会場はチームスタッフ，選手，役員のみ参加）

・チーム持参品（体温計，消毒液，予備マスク，除菌シート，その他　必要と思われる物）

【試合において今までと異なる点】

・審判員の笛は飛沫防止の観点から当面，電子ホイッスルを使用

・試合前後の握手は無しで一礼で代替。常にエアータッチを心掛け，身体接触を極力なくす

・開会式，閉会式は行わない。表彰式は簡素化。説明を兼ねた開始式は場合によっては行う

・体育館フロアーには試合チーム・役員以外は入らない（試合でない場合は観覧席，館外，控室など密にならない場所で待機する）

* 大会会場（体育館）の新型コロナウイルス感染拡大予防の施設マニュアルを遵守する事

提出日　　令和２年　　　月　　　日

チ ー ム 名：

記入責任者 ：

**健康チェックシート（チーム用）　入館後に受付に提出。提出のない場合の参加は認めない**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏　　　　　名 | 大会日，朝の体温 | 咳・鼻水・咽頭痛の症状が無い | 自宅電話ｏｒ携帯番号 |
| 監督 |  |  |  |  |
| コーチ |  |  |  |  |
| マネージャー |  |  |  |  |

＊症状は〇×で記入

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 背番号 | 氏　　　　　名 | 大会日，朝の体温 | 咳・鼻水・咽頭痛の症状が無い |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

＊健康観察（コロナ対策）以外での使用は致しません

＊体育館での事前チェック表と重なる場合には一本化する場合があります